

雄峰高校通信制 シラバス

各科目をクリックすると、該当ページにジャンプします。

○国語

国語総合…………… p 2

○地歴公民

世界史 B…………… p 3

日本史 B…………… p 4

地理 B…………… p 5

現代社会…………… p 6

倫理…………… p 7

政治・経済…………… p 8

○数学

数学 I…………… p 9

○理科

科学と人間生活…………… p 10

物理基礎…………… p 11

化学基礎…………… p 12

生物基礎…………… p 13

○保健体育

体育…………… p 14

保健①保健②…………… p 15

○芸術

音楽 I…………… p 16

美術 I…………… p 17

書道 I…………… p 18

○外国語

コミュニケーション英語 I…………… p 19

○家庭

家庭総合…………… p 20

○情報

社会と情報…………… p 21

情報の科学…………… p 22

教科・科目	単位制	単位数	教科書	学習書
国語・国語総合	全	4	新編国語総合 (東書332)	新編国語総合 (日本放送出版協会)
科目の概要と目標	現代文編では、近代以降のさまざまな文章を読み、文章構成や内容の理解、表現方法等について学習する。古文編及び漢文編では、古文・漢文の基礎を学び、古典の世界に親しむ。これらの学習を通して、国語を理解し表現する総合的な言語能力を養う。また、報告課題の作成により、教材文の内容や漢字・語句、自分の意見・感想などを的確に表現する力を養う。			

学期	面接指導		レポート No.	到達度目標
	回	内容		
前期	1	随想1「ルリボシカミキリの青」	1	具体的な例話を通して、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。
	2	小説1「とんかつ」	2	場面の状況や登場人物の心情を、表現に即して読み取る。
	3	評論1「未来をつくる想像力」	3	筆者の提示した問題点と提言をとらえ、文章の構成を理解する。
	4			
	5	古文入門「古文に親しむ」「児のそら寝」	4	歴史的仮名遣いや古文特有の言葉に慣れ、作品を音読する。説話のおもしろさを通して、古文の世界に親しむ。
	6	随筆「徒然草 奥山に、猫またといふものありて」	5	古文の表現に慣れ、文章の内容を読み取る。話のおもしろさがどのような点にあるかをとらえる。
	7			
	8	物語「伊勢物語 芥川」	6	物語の展開を読み取り、登場人物の行動や心情を表現に即して読み味わう。物語に挿入された和歌の効果について考える。
	9	前期定期試験対策講座	1～6	漢字や語句などについて理解を深める。

学期	面接指導		レポート No.	到達度目標
	回	内容		
後期	1	詩「空をかついで」「二十億光年の孤独」「冬が来た」	1	詩を音読し、詩に親しむ態度や詩を味わう力を養う。比喩や言葉のリズムなど、詩の表現の特徴を理解する。
	2	小説2「羅生門」	2	表現技巧とその効果や風景描写の役割を読み味わう。登場人物の心理の変化と行動を通して、作品の主題をとらえる。
	3	評論2「真の自立とは」	3	文章の構成を考えながら論旨を的確にとらえ、筆者の主張に対する自分の意見を持つ。
	4			
	5	漢文入門「訓読の基本」	4	漢文の特色を知り、きまりを理解する。短い漢文を音読する。
	6	漢文入門「故事 守株・五十歩百歩」	5	書き下し文の原則を理解し、漢文を音読する。故事の由来を知り、漢文の世界に親しむ。
	7			
	8	唐詩「春暁」 論語「学ぶということ」	6	漢詩の形式を理解し、詩にうたわれた情景を読み取る。孔子の学問についての考え方をとらえる。
	9	後期試験対策講座	1～6	漢字や語句などについて理解を深める。

教科・科目	単体制	単位数	教科書	学習書
地理歴史 世界史B	全	4	新選世界史B (東書B305)	新選世界史B (日本放送出版協会)
科目の概要と目標	世界の歴史の大きな枠組みと展開を地理的条件や日本の歴史と関連づけて学習する。歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			

学期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
前期	1	地球と人類のはじまり 西アジア世界の形成 地中海世界の形成①	1	文明の成立過程を考察し、オリエント・ギリシアの各文明の特質を理解する。
	2	地中海世界の形成② 南アジア世界・東南アジアの形成	2	ローマ帝国、古代インド文明、東南アジア世界の形成を理解する。
	3	東アジア・内陸アジア世界の形成	3	東アジア世界や内陸アジア世界の形成を理解する。
	4			
	5	イスラーム世界の形成と拡大	4	イスラーム世界が果たした役割を理解する。
	6	ヨーロッパ世界の形成と変動	5	ヨーロッパ世界が形成されていく過程を理解する。
	7			
	8	内陸アジア世界とアジア諸地域世界の繁栄と成熟	6	モンゴル帝国や明清帝国、イスラーム諸国家の動向を理解する。
	9	前期のまとめ		諸地域世界ごとに歴史の流れを大きく理解する。

学期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
後期	1	ヨーロッパの拡大と大西洋世界	1	大航海時代、ルネサンス、宗教改革、近代主権国家成立の歴史的意義を理解する。
	2	産業社会と国民国家の形成	2	産業革命、アメリカ合衆国の独立、フランス革命が果たした役割を考察する。
	3	世界市場の形成とアジア諸国、世界の分割	3	ヨーロッパの進出に対するアジア諸国の対応を理解する。
	4			
	5	二つの世界大戦と世界①	4	二つの世界大戦の原因や性格、戦争の影響を考察し、
	6	二つの世界大戦と世界②	5	和の意義についても考える。
	7			
	8	戦後世界の形成と変容、21世紀の課題	6	冷戦期以降のこの世界の動向を理解し、21世紀の諸課題について考察する。
	9	後期のまとめ		21世紀の諸課題について、自分の考えをまとめる。

教科・科目	単体制	単位数	教科書	学習書
地理歴史・地理B	全	4	新詳地理B (帝国304)	詳細地理B (NHK出版)
科目の概要と目標	現代世界の地理的諸課題や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、系統地理的、地誌的に学習します。世界の地形や気候、資源や、産業を学び、そこで暮らす人々の生活や文化を学びます。その地域的な相違や関連を明らかにし、日本や富山についても地理的に考察します。			

学期	面接指導		レポート No.	到達度目標
	回	内容		
前期	1	さまざまな地図と地理的技能	1	地図の種類・図法その利用について理解する。
	2	世界の地形・大地形	2	地形と人間生活との関わりを考える。
	3	世界の気候区分 環境問題	3	気候を構成している要素について学習する。 世界・日本の環境問題の特徴と対策について考察する。
	4			
	5	産業の発達と変化・世界の農林水産業 食料問題・世界のエネルギー・資源問題 資源・エネルギー問題	4	産業の発達と変化について、自然環境との関わりやグローバル化の視点から考察する。 資源・エネルギー問題について、学習する。
	6	世界の工業・第3次産業 世界を結ぶ交通・通信 現代世界の貿易と経済圏	5	世界の工業地域の特色や変化を具体的事例から考える。 世界の第3次産業の発展について特色を考察する。 世界の貿易と経済圏について、現状と課題を考察する。
	7			
	8	世界の人口・人口問題・村落と都市 都市と居住問題	6	世界の人口構成や人口転換を考察する。 発展途上国、先進国、日本の人口問題の事例を考察する。 村落や都市の発達、都市問題を考える。 日本の都市の特徴を考察する。
	9	まとめ		前期内容の確認

学期	面接指導		レポート No.	到達度目標
	回	内容		
後期	1	生活文化・民族・宗教	1	生活文化と民族と宗教についての関わりについて考察する。日本の民族や領土についての課題を考察する。
	2	現代世界の地域区分 東アジア・東南アジア	2	地域区分の概念や目的、意義を理解理解する。 東アジア・東南アジアの民族・文化・衣食住について学習する。
	3	南アジア・西アジア・中央アジア・アフリカ	3	南アジア・西アジア・中央アジア・アフリカの民族・文化・衣食住について学習する。
	4			
	5	ヨーロッパ・ロシア	4	ヨーロッパ・ロシアの民族・文化・衣食住について学習する。
	6	アングロアメリカ	5	アングロアメリカの民族・文化・衣食住について学習する。
	7			
	8	ラテンアメリカ・オセアニア	6	ラテンアメリカ・オセアニアの民族・文化・衣食住について学習する。
	9	まとめ		後期内容の確認

教科・科目	単体制	単位数	教科書	学習書
公民・現代社会	全	2	現代社会 (東書313)	現代社会 (NHK出版)
科目の概要と目標	現代の社会と人間について理解を深め、現代社会の基本的な問題について、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な視点から主体的に考察し公正に判断するとともに、様々な角度から現代社会をとらえ、自ら人間としての在り方生き方について考察する力を養う。			

学期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
前期	1	わたしたちの生きる社会 現代社会と青年の生き方	1	私達を取り巻くさまざまな事柄を調べ、考える。 現代社会の特質や社会の変化を理解する。
	2	よりよく生きることを求めて	2	人間としてどのように生きていくか考える。 日本と外国のさまざまな考え方を理解する。
	3	日本国憲法と民主政治 個人の尊重と法の支配	3	日本国憲法の基本的原則と民主政治の成り立ちとしくみを理解する。 個人と法の関係についてさまざまな角度から考え、理解を深める。
	4			
	5	経済のしくみ 変化する日本経済	4	現在の経済社会のしくみや現状と課題を理解する。 経済環境が変化した日本経済の現状を理解する
	6	豊かな生活の実現 国際経済のしくみと動向	5	豊かな生活とは何か考える。 経済活動がグローバル化していることを理解する。
	7			
	8	国際政治のしくみと動向 国際社会の現状と課題 ともに生きる社会をめざして	6	国際社会の成立と戦後の動きについて理解する。 人類のかかえる諸問題と、その解決のための国際的動きおよび日本の役割を理解する。 テーマについて主体的に追究し、自分の意見を述べられるようにする。
	9	まとめ		現代社会や国際社会の諸課題から1つの課題を選択し、これまでの学習で得られた知識や見方・考え方など自分の考えをまとめる。

※ 後期の開講はありません。

教科・科目	単体制	単位数	教科書	学習書
公民 倫理	全	2	倫理 (東書306)	倫理 (日本放送出版協会)
科目の概要と目標	人間尊重の精神生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての事故の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			

※前期の開講はありません。

学期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
後期	1	青年期の課題と自己形成 人間としての自覚①	1	人生における青年期の位置、社会主体となる青年が自覚すべき課題について学習し、自己理解をするとともに、その解決法を考える。 先哲の思想や考え方を学習する。
	2	人間としての自覚②	2	宗教が人生にどのような意味を持つかを考える。
	3	人間としての自覚③ 国際社会に生きる日本人の自覚①		芸術の意義について考える。 日本人の人間観・自然観、宗教観、倫理観を考える。
	4		3	
	5	国際社会に生きる日本人の自覚②	4	江戸時代から現代に至るまでの日本の思想の流れを、伝統思想と外来思想の関係からとらえ、国際社会の中で生きる日本の思想的課題を考える。
	6	現代を生きる人間の倫理	5	現代社会の基本的な考え方がどのように形成されてきたかを学習する。
	7			
	8	現代の課題を考える	6	現代の倫理的課題について考察する。
	9	まとめ		これから生きていく上で何が大切なことか考える。

教科・科目	単体制	単位数	教科書	学習書
公民 政治・経済	全	2	政治・経済 (東書302)	政治・経済 (日本放送出版協会)
科目の概要と目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて学習する。この学習を通して、現代の諸課題について主体的に考察し、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。			

学期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
前期	1	民主政治の基本原則、日本国憲法の基本原則	1	民主政治や日本国憲法の基本原則について理解する。
	2	日本の政治機構、現代政治の特質と課題	2	政治に対する関心を深め、現代政治の特質を考察する。
	3	現代の国際政治	3	国際政治の動向や特徴を理解し、国際政治についての関心を高める。
	4			
	5	現代の資本主義経済、現代経済のしくみ	4	現代の資本主義経済の成立過程と特徴を理解し、資本主義経済の課題を考察する。
	6	日本経済の発展と産業構造の変化、福祉社会と日本経済の課題、国民経済と国際経済	5	日本が直面している経済の諸課題について考察する。国際経済の特質を理解する。
	7			
	8	日本社会の諸課題、国際社会の諸課題	6	日本社会や国際社会の諸課題について関心を持ち、望ましい解決のあり方について考察する。
	9	まとめ		日本社会や国際社会の諸課題から1つの課題を選択し、自分の考えをまとめる。

※ 後期の開講はありません。

教科・科目	単体制	単位数	教科書	学習書
数学・数学 I	全	4	改訂新数学 I (東書319)	改訂新数学 I (NHK出版)
科目の概要と目標	<p>必履修科目。数と式を学んだあとに、1次不等式や2次方程式の解き方を学ぶ。基本的な計算を習得し、数学的な興味・関心を高める。また、2次関数では表やグラフを用いて数量の変化を把握する。三角比では図形の基本的な性質を学習することにより、図形の計量の有用性が認識できるようになる。さらに集合と論証についても学び、事象の考察に活用できるようになる。データの分析では、統計の基本的な考えを理解する。</p>			

学期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
前期	1	1章 数と式 1節 整式 加法・減法・乗法	1	整式を整理して、加法、減法ができる。また、指数法則、分配法則にもとづいて、整式の乗法ができる。
	2	1節 整式 乗法公式・因数分解 2節 実数 平方根の計算	2	乗法公式を用いて整式の乗法や、因数分解ができる。数を実数の範囲に広げ、根号を含む式の計算ができる。
	3	3節 方程式と不等式 1次方程式・不等式、連立不等式 2次方程式	3	1次方程式、不等式が解ける。また、連立不等式を解くことができる。因数分解や解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。
	4			
	5	2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ	4	放物線の性質を理解し、2次関数のグラフが描ける。放物線の平行移動について理解する。
	6	2節 2次関数の値の変化 最大・最小	5	2次関数の最大・最小を理解し、その値を求めることができる。
	7			
	8	2節 2次関数の値の変化 2次関数のグラフと2次方程式・不等式	6	2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係を理解する。
	9	前期のまとめ		前期学んだことを復習し、理解不足な点を理解する。

学期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
後期	1	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 タンジェント・サイン・コサイン	1	鋭角の三角比としてのタンジェント、サイン、コサインの意味を理解できる。
	2	1節 鋭角の三角比 三角比の利用 三角比の相互関係	2	三角比やその相互関係を利用して、その値や辺の長さなどを求めることができる。
	3	2節 三角比の応用 三角形の面積 正弦・余弦定理	3	三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。正弦定理、余弦定理を導き、活用できる。
	4			
	5	2節 三角比の応用 鈍角の三角比と計量	4	三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求めることができる。
	6	4章 集合と論証	5	集合と命題に関する基本的事項を理解し、活用することができる。
	7			
	8	5章 データの分析	6	統計の基本的な考えを理解し、それを用いてデータを整理・分析することができる。
	9	後期のまとめと課題学習		後期学んだことを復習し、理解不足な点を理解する。数 I で学んだことを生活と関連付けたり、活用しようとするすることができる。

教科・科目	単体制	単位数	教科書	学習書
理科・科学と人間生活	全	2	科学と人間生活 (啓林館302)	科学と人間生活 (NHK出版)
科目の概要と目標	自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。			

学期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
前期	1	【講義】 科学技術の発展	1	科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解できる。
	2	【講義】 生命と光	2	植物の生育、動物の行動及びヒトの視覚と光とのかかわりについて理解できる。
	3	【実験】 生命と光	2	〃
	4	【講義】 食品と衣料	3	身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について理解できる。
		【実験】 食品と衣料	3	〃
	5	【講義】 光の性質とその利用	4	光の波としての分類や性質について理解できる。
	6	【実験】 光の性質とその利用	4	〃
	7	【講義】 自然景観と自然災害	5	身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、太陽の放射エネルギーによる作用や地球内部のエネルギーによる変動と関連付けて理解できる。
		〃		〃
8	【講義】 これからの科学と人間生活	6	これまでの学習を踏まえ、自然や科学技術に関連した事例を課題として設定し考察できる。	
9	【課題研究】 これからの科学と人間生活	6	〃	

※ 後期の開講はありません。

教科・科目	単体制	単位数	教科書	学習書
理科・物理基礎	全	2	改訂 新編物理基礎 (東書312)	改訂 新編 物理基礎 (NHK出版)
科目の概要と目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。			

※ 前期の開講はありません。

学期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
後 期	1	直線運動の世界	1	・ 日常に起こる物体の運動の基本的な表し方や加速度について、直線運動を中心に理解できる。
	2	力と運動の法則①	2	・ 身近な物体に働く力を見だし、運動の三法則や物体の落下運動の特徴について理解できる。
	3	力と運動の法則②		・ 実験を通して、物体に働く力と運動の関係について理解できる。
	4	日常に潜む力・仕事とエネルギー①	3	・ 運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解できる。
		日常に潜む力・仕事とエネルギー②		・ 実験を通して、仕事の原理と仕事率について理解できる。
	5	仕事とエネルギー① さまざまな物理現象とエネルギー	4	・ 力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解できる。
	6	仕事とエネルギー② さまざまな物理現象とエネルギー		・ 熱と温度について原子や分子の熱運動の視点から理解できる。また、熱と仕事の変換について理解できる。
	7	波①	5	・ 身の回りの多くの波動現象に気付き、波の基本的な性質や表し方を理解できる。
		波②		・ 実験を通して、気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質について理解できる。
8	電気・エネルギー	6	・ 物質による抵抗率の違いや、日常生活での交流の利用について理解できる。また、人類が利用可能なエネルギーの特性や利用について理解できる。	
9	まとめ		・ 物理学の基本的な概念や原理・法則が、日常生活やそれを支えている科学技術と結び付いていることを理解できる。	

教科・科目	単位制	単位数	教科書	学習書
理科 化学基礎	全	2	改訂 新編化学基礎 (化基312)	改訂 新編化学基礎 学習書 NHK出版
科目の概要と目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって、観察実験を行い、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させる。			

学 期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
前 期	1	化学と人間生活 物質の成分と構成元素	1	身の回りの種々多様な物質を概観する。
	2	原子の構造と元素の周期表①～原子の構造	2	原子の構造を理解する。
	3	原子の構造と元素の周期表②～周期表	2	原子の構造と化学的性質の関連性を理解する。
	4	※1限 化学結合①	3	イオン結合と物質の成り立ちの関係を理解する。
		※3限 化学結合②	3	共有結合と物質の成り立ちの関係を理解する。
	5	物質量と化学反応式①	4	物質量および溶液の濃度について理解する。
	6	物質量と化学反応式②	4	化学変化とその量的関係を理解する。
	7	※1限 酸と塩基①	5	酸と塩基の性質を理解する。
		※3限 酸と塩基②	5	中和反応の定量的扱いを理解する。
8	酸化還元反応①	6	酸化還元と電子の授受の関係を理解する。	
9	酸化還元反応②	6	酸化還元反応の応用について理解する。	

※ 後期の開講はありません。

教科・科目	単位制	単位数	教科書	学習書
理科 生物基礎	全	2	改訂 新編生物基礎 (東書312)	改訂 新編生物基礎 学習書 NHK出版
科目の概要と目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させる。			

※ 前期の開講はありません。

学 期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
後 期	1	生命の多様性と共通性、生命活動とエネルギー	1	生物の共通性、エネルギーと代謝について理解する。
	2	生物と遺伝子	2	遺伝情報を担うDNAの特徴を理解する。
	3	遺伝子の分配	2	DNAが複製され分配されることを理解する。
	4	※1限 遺伝情報とタンパク質の合成	3	DNA→タンパク質が合成される過程を理解する。
		※3限 体内環境の維持①	3	体内環境とは何かを理解する。
	5	体内環境の維持②	4	体内環境を維持するしくみを理解する。
	6	体内環境を保つしくみ	4	体内環境を保つしくみを理解する。
	7	※1限 体内環境を守るしくみ	5	体を外敵から守る免疫のシステムを理解する。
		※3限 植生の多様性と遷移	5	生物と環境のつながりを理解する。
8	バイオームとその分布	6	植生の分布と環境の関係を理解する。	
9	生態系とその保全	6	生態系を保全する意義を理解する。	

教科・科目	単位制	単位数	教科書	学習書
保健体育・体育	全	①～⑩ 各1	現代高等保健体育改訂版 (大修館304)	現代高等保健体育 (日本放送出版協会)
科目の概要と目標	選択した種目の運動の特性を理解し、基本的な技能を修得する。 選択した種目の運動を各自が課題を持って取り組み、運動の楽しさや達成感を味わう。 自ら運動に親しむ能力を高め、卒業後も運動やスポーツを継続することができるようにする。			

学期	面接指導		レポート No.	到達度目標
	回	内 容		
前	1	OR・体育理論		①健康の保持増進のための実践力を養う。 ②自己の能力に応じた課題を解決する方法を学ぶ。 ③運動の楽しさや喜びを学ぶ。 ④生涯を通じて継続的に運動に親しむ態度を学ぶ。
	2	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)		
	3	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)		
	4	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)		
	5	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)	1	
	6	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)		
	7	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)		
	8	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)	2	
	9	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)		

学期	面接指導		レポート No.	到達度目標
	回	内 容		
後	1	OR・体育理論		①スポーツの意義や課題に関する内容を理解する。 ②体ほぐしをしたり、体力の向上を図る方法を図る。 ③公正・協力・責任の態度を育てる態度を養う。 ④他人と協調して思いやる心を育む。
	2	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)		
	3	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)		
	4	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)		
	5	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)		
	6	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)	1	
	7	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)		
	8	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)	2	
	9	種目選択 (ニュースポーツ・球技など)		

教科・科目	単位制	単位数	教科書	学習書
保健体育・保健① 保健②	全	1・1	現代高等保健体育改訂版 (大修館304)	現代高等保健体育 (日本放送出版協会)
科目の概要と目標	必履修科目。生涯を通して健康に過ごせるように、個人及び社会生活における健康・安全について学習します。			

学期	面接指導		レポート No.	到達度目標
	回	内容		
前期	1	生涯を通じる健康（1）		思春期における心身の発達や健康問題について理解できる
	2			
	3	生涯を通じる健康（2）		加齢に伴う心身の変化について理解できる
	4		1	
	5	生涯を通じる健康（3）		我が国の保健・医療制度について理解できる
	6		2	
	7			
	8			
	9	社会生活と健康		3

学期	面接指導		レポート No.	到達度目標
	回	内容		
後期	1	現代社会と健康（1）		健康の成立要因や条件、考え方について理解できる
	2			
	3	現代社会と健康（2）		健康に関する適切な意志決定と行動選択について理解できる
	4		1	
	5	現代社会と健康（3）		交通事故を防止するための方策や重要性を理解できる
	6			
	7			
	8		2	
	9	現代社会と健康（4）		3

教科・科目	単体制	単位数	教科書	学習書
芸術・音楽Ⅰ	全	2	音楽Ⅰ改訂版 Tutti (教出307)	音楽Ⅰ Tutti (日本放送出版協会)
科目の概要と目標	面接指導とレポートの提出を中心に、音楽の諸活動を通して表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽に対する豊かな感性と、音楽を愛好する心情を養う。 自ら学ぼうとする主体的な姿勢を養う。			

学期	※面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
前 期 ・ 後 期	1	オリエンテーション 音楽理論（音名、音符と休符）	1	学習の進め方を理解する。 音名や音符等について基本的な理論を理解する。
	2	歌唱シューベルトとウェルナーの「野バラ」 鑑賞「魔王」		歌唱とともに、詩の内容や楽曲の構成等について理解する。
	3	グレゴリオ聖歌と中世・ルネサンスの音楽 歌唱「サンタルチア」 音楽理論（記号と標語）	2	中世・ルネサンスの音楽を鑑賞し、西洋音楽史の流れを理解する。 外国曲を楽しく歌唱する。 音楽の記号や標語について理解する。
	4	富山県の民謡について 音楽理論（拍子とリズム） 実技	3	「越中おわら節」「こきりこ節」について学ぶ。 拍子とリズムについて理解する。 歌唱やピアノ、キーボード、箏などの実技練習をする。
	5	ギターについて 日本歌曲を歌う「この道」 音楽理論（反復記号）	4	ギターの構造や各種の奏法について理解する。 歌唱や鑑賞を通して山田耕筰について学ぶ。 楽譜で用いられる反復記号について理解する。
	6	アジアの諸民族の音楽		独特の音階や歌い方、器楽などを鑑賞し、諸民族の音楽について理解する。
	7	世界の声・楽器について バロック期の音楽について 音楽理論（長調の音階） 実技	5	世界各国の音楽を鑑賞し、その音楽を理解する。 バロック期の音楽や作曲家について学び、西洋音楽の流れを理解する。 長調の音階について理解する。 歌唱やピアノ、キーボード、箏などの実技練習をする。
	8	楽器の種類とその編成について 劇音楽について 交響曲第九番から「よろこびの歌」	6	楽器や演奏形態について理解する。 オペラ、ミュージカル、バレエを鑑賞し、興味を深める 「第九」を鑑賞し、交響曲について理解を深める。
	9	実技		期末考査に向けて、歌唱やピアノ、キーボード、箏などの実技練習をする。

教科・科目	単体制	単位数	教科書	学習書
芸術・美術 I	全	2	高校美術 1 (日文302)	高校美術 1 (日本放送出版協会)
科目の概要と目標	面接指導とレポートの提出を中心に、作品制作と鑑賞により基礎的な美術体験をする。 美術の幅広い創造活動を通じて、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性をたかめ、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。			

学期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
前期・後期	1	「美術 I」のオリエンテーション		学習上の留意点を確認する。画材としての鉛筆の使い方を確認する。
	2	絵画の基礎（表現と技法・材料）	1	陰影法による明暗の表現や遠近法などの理解を通して、絵画表現の基礎を学ぶ。適宜、参考作品を鑑賞する。
	3	デザインの基礎（1）（ビジュアルデザイン）	2	光と色の関係を知り、色彩についての基礎知識を学ぶ。合わせて、代表的な書体の特徴について学ぶ。
	4	デザイン実習		「デザインの基礎（1）」の内容を踏まえ、作品の制作を通して、デザインに対する理解を深める。
	5	鑑賞（美術家の生涯と作品）	3	著名な美術家について、その生涯を学ぶとともに、美術史的な視点から代表的な作品を鑑賞する。
	6	デザインの基礎（2）（プロダクトデザイン）	4	プロダクトデザインを中心に学び、デザインと社会の関わりについて知る。
	7	彫刻の表現（塑造技法と彫造技法）、版画の基礎と実習	5	彫刻の表現、技法について知る。代表的な版画の表現や技法を学び、実際の作品制作を通して理解を深める。
	8	「美術に出会う場所」（美術館、博物館、ギャラリー）	6	美術館、博物館、ギャラリーについて、その特徴や利用の際のポイントを知る。
	9	「美術 I」のまとめ		面接指導やレポートで扱った内容を振り返る。参考作品を鑑賞しながら、「美術」に対する理解を改めて深める。

教科・科目	単位制	単位数	教科書	学習書
芸術・書道 I	全	2	書道 I (東京書籍)	書道 I (東京書籍)
科目の概要と目標	代表的な古典の鑑賞・臨書を通して、筆者により様々である書風の違いを理解し、多様な書美表現を養う。また、書に関わる活動を通して身近に書を感じ、楽しんで取り組もうとする意欲や、豊かな感性を育む。			

学期	回	面接指導	レポート	到達度目標
		内容	No.	
前期	1	オリエンテーション		授業の進み方、文房四宝について理解する
	2	楷書の学習① 雁塔聖教序 実技	1	古典の背景を知るとともに、特徴を理解し臨書する
	3	楷書の学習② 自書告身 実技	2	古典の変遷から見える文字の特徴を理解し臨書する
	4	行書の学習 蘭亭序 実技	3	行書の特徴、書き方を理解し臨書する
		行書の学習 蘭亭序 実技	〃	手紙を書くときのルールを学び、実際に書いて理解を深める
	5	草書の学習 風信帖 実技	4	草書の成り立ちを知り、特徴を理解し臨書する
後期	6	仮名の学習① 高野切第三種 実技	5	仮名の成立、変遷を知り、代表的な古典を臨書し理解を深める
	7	仮名の学習② 高野切第三種 実技	〃	仮名の筆遣いや書き方を理解し、自作詩を短冊に書く
		創作作品制作① 解説	6	創作作品を書く時の手順や工程の解説
	8	創作作品制作② 実技	〃	素材となる漢字を題を選び、字典を参考に様々に書く
9	創作作品制作③ 実技	〃	半切サイズの紙に実際に創作し、作品を完成させる	

教科・科目	単位制	単位数	教科書	学習書
外国語・コミュニケーション英語 I	全	4	All Aboard! English Communication I (東書コ1 328)	All Aboard! English Communication I (日本放送出版協会)
科目の概要と目標	「読む、聞く、書く、話す」の4領域の基本的スキルの育成を図る。身近な話題について聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基本能力を養う。また英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。			

学期	面接指導		レポート提出日		到達度目標
	回	内容	期日	No.	
前期	1	Warm Up Pre-lesson 1			自己紹介に使われる表現を通じてbe動詞と一般動詞の性質と文の作り方を確認する。
	2	Pre-lesson 2, L1 This Is My House ①	5/11	1	世界の家に関する説明を読み、事物の紹介という場面に適切な表現を理解する。過去形についての基本的な知識を身につける。
	3	L1 This Is My House②			
	4	L2 My Favorite Hero①	5/25	2	人物に関する説明について概要を的確に理解し、自分の好きな人物について正確に表現する。進行形についての基本的な知識を身につける。
		L2 My Favorite Hero②			
	5	L3 Cool Culture From Japan①	6/8	3	日本のマンガや文化の海外での人気について知り、助動詞 (can, will) の表す話し手の心情や使われる場面を理解する。
	6	L3 Cool Culture From Japan②			
	7	L4 A Mirracle Mirror①	6/29	4	海外の観光地について英語で書かれたメールを読み、内容と表現を理解する。to不定詞についての基本的な知識を身につける。
		L4 A Mirracle Mirror②			
	8	L5 Finding My Future①	7/13	5	高校生の将来の夢について書かれた文章を読み、内容を理解するとともに自分の夢についても表現する。動名詞についての基本的な知識を身につける。
	9	L5 Finding My Future② Review	7/27	6	

学期	面接指導		レポート提出日		到達度目標
	回	内容	期日	No.	
後期	1	L6 A Funny Pictures from the Edo Period ①			江戸時代の浮世絵師 歌川国芳を紹介するスピーチを読むことにより、英語でスピーチする上での手法を学ぶ。
	2	L6 A Funny Pictures From the Edo Period ②	10/26	1	
	3	L7 Living on Ice①			コウテイペンギンの子育てに関する英文を通じて、地球の環境問題について考える。現在完了形について理解する。
	4	L7 Living on Ice② L8 Building Trust In Space①	11/16	2	船長の職務や乗組員同士のコミュニケーションについて読み、概要や要点をとらえる。itの用法について基本的な知識を身につける。
	5	L8 Building Trust In Space②	11/30	3	
	6	L9 Pigs from across the sea①	12/21	4	太平洋戦争で大きな被害を受けた沖縄に救いの手をさしのべたハワイ在住日系アメリカ人のエピソードを通じて戦争の怖さと平和の大切さを考える。
	7	L9 Pigs from across the sea② L10 I Am Malala①	1/9	5	教育を受ける権利に対するマララさんの信念について理解し、比較表現についての基本的な知識を身につける。
	8	L10 I Am Malala②			
	9	文法のまとめ Review	1/18	6	後期に学んだ文法知識を復習し、それらを使って表現活動をする。

教科・科目	単位制	単位数	教科書	学習書
家庭・ 家庭総合	全	4	家庭総合 自立・共生・創造 (東書307)	家庭総合学習書 (全国高等学校通信制教育研究会編)
科目の概要と目標	必修修科目。 人の一生や家族・家庭，子どもや高齢者とのかかわりと福祉，消費生活，衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ，家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに，生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。			

学期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
前期	1	自分らしい人生をつくる	1	人の一生について考えライフステージごとの課題を理解する。
	2	自分らしい人生をつくる	2	家族・家庭の意義や機能，現在の家族の抱える課題を理解する。
	3	子どもと共に育つ	3	子どもの発達段階を知り，周囲の人々とのかかわりの大切さを学ぶ。
	4	子どもと共に育つ	3	子どもを取りまく社会変化の現状や子育て支援の現状を学ぶ。
	5	高齢社会を生きる	4	高齢社会の現状と課題を理解し，高齢者を支える制度と課題を考える。
	6	共に生き，共に支える	4	福祉や社会的支援の必要性や，社会保障制度の理念と内容を学ぶ。
	7	経済生活を営む	5	経済的自立について主体的に考える必要性を理解する。
	8	経済生活を営む	6	消費者として適切な判断ができるようにする。
	9	家族・社会との共生	1～6	家族や社会とのかかわりや生活課題について考える。

学期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
後期	1	食生活をつくる	1	現代の食生活の傾向と問題点について考える。
	2	食生活をつくる	1	栄養、食品、調理などについて科学的に理解する。
	3	食生活をつくる	2	栄養、食品、調理及び食品衛生などについて科学的に理解する。
	4	食生活をつくる	2	生涯を見通して主体的に食生活を営む必要性について考える。
	5	衣生活をつくる	3	被服の構成方法や被服材料について考える。
	6	衣生活を考える	3	被服の入手、洗濯、保管などについて知識と技術を習得する。
	7	住生活をつくる	4	住居の機能や住空間の計画などについて科学的に理解する。
	8	住生活をつくる	5	ライフステージに応じた住居について考える。
	9	生活を設計する	6	生涯を見通した自己の生活について主体的に考える。

教科・科目	単位制	単位数	教科書	学習書
情報・社会と情報	全	2	新編 社会と情報 (東書309)	なし
科目の概要と目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報通信機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。			

学期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
前期	1	情報を理解しよう ・基本的な知識と技術を身につけよう ・ネットワークで情報を共有する	1	コンピュータの基本操作を習得する。ソフトウェアの基本操作を習得する。ネットワークを有効に活用して情報を共有する方法を習得する。 ネットワークを活用する際の注意すべきことを理解する。
	2	数値・文字の表現について学ぶ	2	2進数や16進法などを使って、数値や文字をデジタル化する方法を習得する。
	3	Wordの活用	3	文字入力、写真の挿入、太字、ルビ、ワードアート 下線、網掛け、罫線、表・特殊文字の挿入などができる。
	4	表計算ソフトウェアの活用	4	いろいろな情報源とその特徴を理解し、効果的な検索方法を習得する。表計算ソフトウェアを活用した数値データの集計を習得する。
	5	情報通信ネットワークとコミュニケーション	5	情報を発信し、相手に効果的に伝えるための手順や方法を習得する。情報を発信するにあたって注意すべきことや学ぶべきルールやマナーを理解する。
	6	情報通信ネットワークの活用	6	デジタルデータの特徴を理解する。さまざまな情報のデジタル化の方法を習得する。コンピュータとネットワークが機能するしくみを理解する。
	7	情報社会の課題と情報モラル 望ましい情報社会の構築		生活や社会のさまざまな場面で情報技術がどのように機能しているか理解する。情報化の進展が私たちの生活に与える影響を理解する。情報社会の光と陰について学ぶ。

※後期の開講はありません。

教科・科目	単位制	単位数	教科書	学習書
情報・情報の科学	全	2	情報の科学 (日文305)	なし
科目の概要と目標	情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させるとともに、情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させ、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てる。			

※前期の開講はありません。

学 期	面接指導		レポート	到達度目標
	回	内容	No.	
後 期	1	コンピュータによる情報の処理と実現	1	コンピュータにおいて情報が処理される仕組みについて理解する。
	2	コンピュータにおける文字、音及び画像の表現	2	コンピュータの中では、文字、音及び画像ももデジタルデータで扱われる。そのためのさまざまな工夫について理解する。
	3	画像処理ソフトウェア及びデジタルデータ特徴や圧縮の技術	3	画像処理ソフトウェアについて学ぶ。さらに、デジタルデータ特徴や圧縮の技術 について理解する。
	4	情報通信ネットワークの仕組み	4	インターネットの仕組みについて理解する。情報機器やコンピュータネットワークのトラブルに対応する能力を身につける。
	5	情報セキュリティ及び情報システムの働きと提供するサービス	5	コンピュータやネットワークなどのシステムの安全性や信頼性を高める方法について理解する。また情報システムの働きと提供するサービスについて理解する。
	6	問題解決とコンピュータの活用	6	問題解決の基本的な流れを理解する。さらにさまざまな問題解決のための方法を学ぶ。問題解決と処理手順の自動化についてのしくみを理解する。
	7	情報の管理と問題解決		問題解決における情報通信ネットワーク活用方法を習得させ、情報を共有することの有用性を理解する。